

～ 開 催 要 領 ～

1. 日 時 2021年9月28日(火) 13:30～17:40 (受付13:00～)
2. 会 場 ZOOMによるWEB開催
3. 主な次第

- (1) 開 演 主催者挨拶・次第説明 13:30～13:50
(2) 講 演 13:50～17:30

基調講演1 『KESG 経営 ～社会課題解決への挑戦～』 13:50～14:20

講 師：習田 勝之 株式会社クボタ KESG推進部長

講演概要 クボタは、創業者がコレラのまん延を抑制すべく、国内初の水道管の量産化を成功させたように、社会課題を、事業を通じて解決すべく取り組んできました。本年、10年ビジョンを策定し、将来起こり得るであろう社会課題の中で「食料・水・環境」の事業領域において様々なソリューションを具現化し、それらの解決を目指します。社会価値の高い事業に挑戦し、経済価値も生み出すクボタらしいESG、つまり『KESG 経営』の取組みを紹介します。

講演① 『太陽光水素製造に向けた有機無機ハイブリッド材料を利用する光触媒開発』 14:25～14:55

講 師：堀内 悠 大阪府立大学 工学研究科 応用化学分野 准教授

講演概要 光触媒を利用する太陽光水素製造反応は、クリーンで再生可能なエネルギー製造技術であり、SDGsの理念に沿った有望技術の一つと言えます。その実現には、太陽光の大部分を占める可視光を吸収できる光学特性をはじめ、光触媒材料の特性を精密に制御することが求められます。本講演では、多孔性金属錯体(PCP/MOF)と呼ばれる有機無機ハイブリッド材料の構造の設計性や柔軟性を利用した可視光応答型光触媒の開発事例を紹介します。

講演② 『セラミックスへのCO₂固定化～高い表面塩基性を有する材料群の利用～』 15:00～15:30

講 師：徳留 靖明 大阪府立大学 工学研究科 マテリアル工学分野 准教授

講演概要 SDGsの達成に向けた取り組みとして、CO₂の固定化あるいは有用な化学物質への変換手法の開発が求められています。特に、ユビキタス元素から構成され、高い化学的安定性を有する比較的安価なCO₂固定化材料の活用が望ましいと考えられます。今回は、化学的に安定であり湿潤環境や水中においても材料の表面活性が失活せず、選択的にCO₂を捕捉・利用可能なセラミックス材料群の開発と利用をご紹介します。

≪ 休憩 ≫

基調講演2 『SDGsをめぐる動き～企業とSDGs～』 15:50～16:20

講 師：足立 光晴 近畿経済産業局 通商部 国際化調整企画官

講演概要 2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標であるSDGsは、近年、社会全体で知られるようになり、経済界においても、SDGsの視点を取り入れた企業経営への関心が高まっています。ここでは、SDGsをめぐる国・行政の動向や企業を取り巻く環境の変化から、企業が如何にSDGsに取り組んでいくかについて、「中小企業のためのSDGs活用ガイドブック」の内容をもとに考察します。

講演③ 『養殖場における機械化・自動化・情報化技術』 16:25～16:55

**講 師：二瓶 泰範 大阪府立大学 研究推進機構 21世紀科学研究センター
養殖場高度化推進研究センター センター長
工学研究科 海洋システム工学分野 准教授**

講演概要 水産分野において養殖業が重要な役割を担うようになってきています。その養殖業における自動化・情報化・機械化は喫緊の課題です。講演では養殖業を簡単に分類した後、課題解決に向けたいくつかの事例を紹介します。さらに、情報化や自動化の一例として養殖場高度化推進研究センターで取り組んでいる四胴型自動航行船を用いた養殖場における自動水質計測とAI水質予報の取り組みを紹介します。

講演④ 『都市沿岸域の目指す姿を探索する技術～科学に立脚したファシリテーションの試み』 17:00～17:30

講 師：相馬 明郎 大阪市立大学 工学研究科 教授

講演概要 自然資本・社会資本の融合体である都市沿岸域は、物理・生物・化学過程と社会機能が絡み合うエコシステムであり、その複雑さが目指す姿の描像を困難にします。講演では、沿岸生態系が持つ、豊かな海回復/温暖化抑制機能を例にして、「生態系の数理モデル」が、複雑システムにおける未知なるメカニズムの解明、施策の予測・評価のみならず、目指す姿を考案する際、産官学民のコミュニケーションプラットフォームとして貢献する可能性について紹介します。

(3) 終了挨拶 アンケートご記入等ご案内 17:35～17:40

4. 参加申込 本会はオンライン会議システムZOOMを利用して開催します。ご参加には事前登録が必要です。
りそな中小企業振興財団のホームページ (<https://www.resona-fdn.or.jp>) からご登録ください。

定員に達した場合は参加申し込み登録を終了いたします。あらかじめご了承ください。
ご登録いただいた方に視聴用IDとパスワードをお送りします。

5. 受講環境 PCやネットワーク設定等の受講環境をご準備ください。
参加者の機器等の影響で聴講いただけない場合は、当方では対応いたしかねますのでご了承ください。
講演の部では、参加者の映像はオフ、音声はミュート設定とさせていただきます。
当日にシステム障害が発生した場合は中止とさせていただきます。

6. 禁止事項 録画・録音・撮影は固くお断りいたします。